

令和3年度第1回小林古径記念美術館運営委員会次第

日時：令和3年7月28日（水）午後2時00分から

場所：小林古径記念美術館

1 開 会

2 委嘱状の交付

小林古径記念美術館運営委員委嘱状の交付

3 挨拶

4 正副委員長選出

委員長、副委員長の選出

5 議 事

(1) 開館までの経過報告及び令和2年度の事業結果について

(2) 令和3年度の事業内容について

(3) 令和4年度以降の事業計画について

6 その他

7 閉 会

小林古径記念美術館運営委員会 委員名簿

1 委員

選出区分	氏名	役職等
美術文化について識見を有する人	たかはし のぶお 高橋 信雄	小林古径保存会
	かわさき ひかり 川崎 日香湊	日本画家
学校教育及び社会教育に精通する人	いからし しほ 五十嵐 史帆	上越教育大学教授（美術教育）
	おおつか あきら 大塚 啓	清里中学校校長 上越美術教育連盟副会長
公募に応じた市民	のだ えみこ 野田 栄美子	

2 任期

令和3年4月1日～令和5年3月31日（2年間）

小林古径記念美術館の施設概要について

1 施設整備の経緯

小林古径記念美術館はこれまで総合博物館と施設を共有しながら運営を行ってきたが、平成26年の高田開府400年を機に歴史に対する関心が高まったことから、総合博物館を歴史に特化した「歴史博物館」としてリニューアルすることとなった。これに伴い、小林古径記念美術館は小林古径邸敷地内に移転・整備することとし、総合博物館がこれまで収蔵してきた上越市ゆかりの美術作家の作品を小林古径記念美術館に所管替えし、従来の古径芸術の紹介や顕彰のほか、上越市ゆかりの多岐にわたる美術の世界を紹介する市立美術館として機能を整理した。

また、今回の整備については、「古径記念室」「企画展示室」の2つの展示室のほか、美術に関する講演会や各種イベント等を開催する多目的室（二ノ丸ホール）を整備した。多目的室では子どもから大人まで幅広く美術に親しむ機会を提供し、創造性豊かな活動の場所を提供することも目的としている。

今回の美術館整備によって、美術館と小林古径邸本邸（国登録有形文化財）・画室、さらに庭園が同一敷地内に配置される特色のある美術館として、上越市の新たな文化スポットとしての役割が期待できる。

2 施設概要等

(1) 施設概要

① 建物 延床面積 1,228.71 m²（美術館・古径邸本邸・画室含む）

区分	説明
美術館	<ul style="list-style-type: none">・展示室（古径記念室、企画展示室）、二ノ丸ホール（多目的室）、一時保管庫、事務室、機械室ほか・延床面積 <u>809.67 m²</u>・構造 鉄筋コンクリート造＋鉄骨造＋木造、一部2階建
小林古径邸	<ul style="list-style-type: none">①古径邸本邸（登録有形文化財）<ul style="list-style-type: none">・昭和9年建築（平成13年上越市に移築）・延床面積 <u>219.97 m²</u>②古径邸画室<ul style="list-style-type: none">・平成13年復元・延床面積 <u>199.07 m²</u> 構造 木造（古径邸本邸及び画室）

② 敷地 5,136.99 m²

④ 駐車台数 普通車70台、大型観光バス3台（歴史博物館と共有）

(2) 開館日

火曜日から日曜日まで（休館日：月曜日、ただし、国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときはその翌日。休日の翌日。12月29日から翌年1月3日まで）

(3) 開館時間

午前9時から午後5時まで

(4) 観覧料等

ア 観覧料

区分	個人	団体（20人以上）
一般	510円	1人につき410円
小・中・高校生	260円	1人につき210円

※市内の小学校の児童及び中学校の生徒は無料

イ 画室使用料

施設名	使用料（1時間につき）
画室	1,020円

ウ 年間観覧券（年間パスポート）

区分	年間観覧券の料金
一般	1,500円
小・中・高生	700円

3 美術館設計業者

宮本忠長建築設計事務所（長野市）

上記の設計事務所は、平成13年4月にオープンした小林古径邸復原事業の設計業者である。なお、同事務所は、北斎館（小布施市）、松本市美術館（松本市）、水野美術館（長野市）など、長野県内を中心として美術館設計業務の実績がある。

4 工事経過

平成27～28年度 基本設計業務委託、地質調査
平成29年度 実施設計業務委託
平成30～令和元年度 本体工事（建築、電気設備、機械設備）
令和2年度 外構工事

小林古径記念美術館増改築事業の経過について（主な事項）

平成 26 年度 内部検討

- ・総合博物館を歴史に特化した博物館にリニューアルすることが決定し、あわせて小林古径美術館を古径邸敷地内に整備することとなった。
- ・整備方針についての内部検討を進める。

平成 27 年度 基本設計

- 8月7日 平成27年度第1回小林古径記念美術館運営委員会（意見徴収）
- 1月25日 基本設計委託業務契約
- 2月2日 第1回小林古径記念美術館増改築検討委員会（基本計画説明）
- 2月16日 第2回小林古径記念美術館増改築検討委員会（基本計画協議）
- 3月4日 上越市議会文教経済常任委員会
- 3月22日 平成27年度第2回小林古径記念美術館運営委員会

平成 28 年度 基本設計

- 9月27日 増改築検討委員会にて経過報告、基本設計について大筋了承
- 9月28日 教育委員会定例会にて経過報告
- 9月30日 基本設計納品
- 10月21日 市議会文教経済常任委員会所管事務調査にて報告
- 11月1日 文化庁文化財部美術学芸課と協議
- 11月21日 高田区地域協議会にて報告
- 2月20日 高田区地域協議会諮問（小林古径記念美術館の移転について）
- 2月21日 高田区地域協議会答申（小林古径記念美術館の移転については適当）

平成 29 年度 実施設計

- 5月17日 実施設計業務委託契約締結
- 1月23日 建築審査会にて承認
- 1月24日 地域再生計画を内閣府に正式申請
- 1月26日 景観アドバイザー協議（色彩と質感を重要視）
- 2月6日 文化庁・東京文化財研究所指導
- 2月8日 市議会文教経済常任委員会所管事務調査にて経過報告
- 3月29日 実施設計納品
- 3月30日 内閣府「地域再生計画（企業版ふるさと納税）」認定

平成 30 年度 建築（本体）工事（基礎工事まで）

- 6 月 18 日 増築工事契約締結
- 7 月 24 日 安全祈願祭
- 9 月 18 日 基礎工事掘削時の湧水により工事中止、工法変更協議
- 10 月 20 日 工法検討により、基礎工事再開
- 12 月 28 日 冬季間のため工事休止（基礎工事まで完了）

平成 31 年度（令和元年度） 建築（本体）工事

- 4 月 16 日 工事再開（躯体工事、屋根工事、内装工事）
※夏季はコンクリートのアルカリ成分除去のため枯らし養生を実施
- 2 月 13 日 建築基準法に基づく検査
- 2 月 29 日 建築工事、電気設備工事、機械設備工事竣工
- 3 月 14 日 増改築工事施工監理委託竣工

令和 2 年度 外構工事、条例制定～開館

- 4 月 21 日 高田区地域協議会諮問（管理の在り方）
- 4 月 27 日 高田区地域協議会答申（管理の在り方については適当）
- 6 月 2 日 市議会 6 月定例会（小林古径記念美術館条例の制定）
- 6 月 29 日 造園工事契約締結
- 7 月 6 日 外構工事契約締結
- 7 月 13 日 外構工事施工監理委託契約締結
- 9 月 15 日 外構工事竣工
- 10 月 3 日 開館、開館記念展「じょうえつ美術のチカラ」開催（～3 月 21 日）
- 10 月 15 日 造園工事、外構工事施工監理委託竣工

令和2年度小林古径記念美術館事業実施状況

1. 展覧会事業

①展覧会開催事業

展覧会名	会 期	内 容	入館者数
小林古径記念美術館 開館記念展 「じょうえつ 美術 のチカラ」(前期展)	令和2年 10月3日(土) ～12月20日(日)	明治時代から令和に至る約150年間に生み 出された小林古径をはじめとする上越市 ゆかりの53作家の作品を前期・後期合わ せ145点展示した。 第1部「小林古径 人と作品」 第2部「アートでつなぐ上越の150年」 主な展示作家 【日本画】：小林古径・川合清・柴田長俊 洞谷亜里佐・川崎日香湊 【油彩画】：牧野虎雄・富岡惣一郎・倉石隆 村山陽・玉井力三・斎藤真一 【写 真】：濱谷浩 【版 画】：棟方志功・舟見俊二 【彫 刻】：岩野勇三・滝川毘堂・峯田敏郎 【陶 芸】：斎藤三郎・志賀重雄・内田邦夫	8,173人
小林古径記念美術館 開館記念展 「じょうえつ 美術 のチカラ」(後期展)	令和3年 1月5日(火) ～3月21日(日)		2,617人
計			10,790人 (うち小中高生1,853人)

※1月10日～18日、1月21日～27日までは大雪のため臨時休館

2. 教育普及事業

①展覧会関連イベント

イベント名	開催日	会 場	内 容	参加者数
ワークショップ 「デッサンに挑 戦！」	11月14日(土) 第1回：午前9時30分～11 時30分 第2回：午後1時30分～3 時30分(全2回)	二ノ丸 ホール	古径の素描を鑑賞した後に、デッ サンのコツについて指導を受け、 実際に果物や花を描いた。 講師：伊藤将和氏(上越教育大学 准教授、美術家) 材料費：500円	25人
ワークショップ 「日本画絵具に親 しむ」	1月31日(日) 午前10時～正午 ※1月16日開催予定が、大 雪のため開催延期	二ノ丸 ホール	岩石を砕き、日本画の絵具をつく り、色紙の大きさの作品を制作し た。 講師：川崎日香湊氏(日本画家) 材料費：2,200円	10人

学芸員による ギャラリートーク	10月11日、10月25日、11月8日、11月22日、12月13日、2月14日、3月14日(全7回) 各回日曜日午後1時30分～	展示室	学芸員による作品解説を展示室内で行った。	85人
映像で楽しむ 作家トーク	10月11日、10月25日、11月8日、11月22日、12月3日、2月14日、2月28日、3月14日(全8回) 各回日曜日午前10時～	二ノ丸 ホール	前期・後期各5名の作家から自身のプロフィールや作品のコンセプト等のインタビュー動画を放映。 伊藤将和・小林充也・関谷昌夫・堀川紀夫・前山忠・大口満・川崎日香湊・洞谷亜里佐・筑波進・松尾大介	73人
庭園ライトアップ (観光交流推進課と 協力して実施)	10月3日(土)～31日 (土)の金・土曜日 11月1日(日)～10日 (火)の休館日を除く毎日 11月13日(金)、14日(土) 20日(金)、21日(土) 22日(日) (合計22日間)	美術館	美術館庭園内をライトアップし、美術館の持つ魅力をアピールした。 (点灯時間:午後4時30分～8時) ・ライトアップにあわせ、小林古径邸及び画室を会場とした市内事業者による食事企画を実施。 ①上越観光コンベンション協会「マイクロツーリズム「小さな旅」」 ②クオルス(株)「古径邸庭園ライトアップディナー」	381人
キャンドルナイト	2月11日(木・祝) 午後4時～午後7時	美術館	庭園に雪灯籠を灯し、近代数寄屋建築の美を演出した。画室では、雪にちなんだ和菓子と抹茶を販売した。当日は古径生誕日を記念し、入館料を無料とした。	845人 (茶席参加 75人)

②その他の美術館主催イベント

イベント名	開催日	会場	内容	参加者数
どようワークショップ	会期中の土曜日 午前10時～正午 (全18回)	二ノ丸 ホール	子どもから大人まで、誰でも気軽に楽しめるワークショップを土曜日午前開催。展示作品や季節に合わせて内容を変え、作品や美術館に親しみを感じてもらおう契機とした。	200人

よちよちタイム	開館中の火曜日 午前9時～正午 (12月～3月:10時～正午) (全19回)	美術館	小さな子どもを連れて保護者が周りを気にせず美術館で作品鑑賞をしてもらうことを目的に実施。火曜日の午前中を「よちよちタイム」とし、保護者1名の入館を無料とした。ホール内に自由に遊ぶおもちゃや絵本を用意した。	47人 保護者の人数
子どものための美術館ガイド 「きつず☆アートチャレンジ」	・学校教育研究会(美術、社会)教職員に配布(109部) ・来館した小学生に配布	美術館	小林古径のこと、美術館に展示している作品のこと、日本画の絵の具に関する問題を解き、美術館に親しみを持ってもらうための子ども向けの取り組み。	964人
スマートフォン向けアプリ 「ポケット学芸員」	—	—	展示作品画像や解説を、どこでも自分のスマホから楽しむことができるアプリ。	—

③上越教育大学との連携事業

「ヨリ・ミチ図工室」

平日の放課後に子どもが主体的に造形活動をする場所、材料、道具、きっかけを提供することを目的として、平成29年に始動。今年で4年目の実施となった。

人数：A組：16名、B組：12名（附属小学校・大町小学校・大手町小学校・稲田小学校）

場所：二ノ丸ホール

No	テーマ	日時	活動内容	参加者数
1	名札づくり	10月14日(水) 10月21日(水)	・マスキングテープを貼った紙に色鉛筆で色を塗る。 ・テープをはがし、名前ハンコを押して缶バッジとカードをつくる	A組:16人 B組:12人
2	ポポポポ蒸気船	10月28日(水) 11月11日(水)	・ボンボン船を作り、ビニールプールに浮かべて遊ぶ	A組:16人 B組:12人
3	がんぎをかざろう	11月18日(水) 11月25日(水)	・美術館の長廊をスズランテープやカラービニール袋で装飾する	A組:16人 B組:11人
4	日本画にちょうせん!	12月2日(水) 12月9日(水)	・日本画キットの中身を見ながら解説を聞く。 ・絵はがきに岩絵の具を使って絵をかく ・展示室に行き、作品を鑑賞する	A組:16人 B組:12人

④出張授業・画材貸出

出張授業

No.	団体・学校名	期日	内容	参加者数
1	上越市立城北中学校 1年生	10月6日(火) 10月9日(金) 10月13日(火) 10月26日(月) 10月28日(水)	・Google Meetを用い、遠隔で見学・作品鑑賞を行う ・好きな作品を選び、音声ガイドをつくる	135人
2	上越市立八千浦中学校 1年生	11月13日(金)	・複製画《百舌鳥》の鑑賞 ・骨描きで、古径の線描を真似する	25人

3	新潟県立吉川高等 特別支援学校 1年生	1月22日(金)	・小林古径・美術館について紹介 ・複製画《蓮》を鑑賞(対話型鑑賞)	16人
4	上越教育大学附属 中学校1年生	6月24日(水)	・美術館見学(1月27日) ・日本画キットの中から、膠、鉾石、岩絵の具を紹介しながら、日本画の画材や技法について学ぶ ・墨を使い古径の描いた線を真似して描く。	108人

画材貸出

◆教材キット内容

小林古径が使用したものに近い筆、絵具を揃えた。使用キットは人数に応じて用意する。

キット種類	内 容
見本キット(木箱入り)	岩絵具原石7種、筆原材料5種、紙原材料4種、岩絵具6種、墨、硯、金泥、金箔、銀箔、膠、筆、和紙、絹、ルーペ
使用キット	岩絵具セット2箱、水干絵具セット2箱、胡粉、顔彩セット2箱、墨、硯、筆、金箔、銀箔、箔切、箔はさみ、箔切台、砂子筒4本、砂子巻棒、絵皿、乳鉢・棒、筆洗い、膠鍋、匙、電熱器、膠、新鳥の子紙
日本画制作過程見本	写生から小下図、下図写しを経て骨描き、彩色、仕上げに至るまでの過程(8工程)を見本(F6サイズボード)で示す。
原寸大デジタル複製画	小林古径の複製画を貸与する。貸与点数は一度に約5点までとする。

貸し出し状況

No.	団体・学校名	期 日	内 容	参加者数
1	洞谷亜里佐氏 (上越教育大学教授)	10月9日(金)～10月15日(木)	・日本画キットの貸し出し (日本画の授業)	10人
2	洞谷亜里佐氏 (上越教育大学教授)	11月14日(土)～11月18日(水)	・日本画キットの貸し出し (日本画の授業)	10人

⑤団体見学(学校等)

No	学 校 名	期 日	見学目的	学 年	参加者数
1	高田高校 (延べ78人)	10月6日(火)	展覧会鑑賞	1年生	21人
		10月7日(水)			19人
		10月8日(木)			11人
		10月16日(金)			27人
2	高田幼稚園	10月9日(金)	遠足	3・4・5歳児	31人
3	上越教育大学 附属小学校	10月12日(月)	日本文化を知る(古径邸の見学)	6年生	35人
4	中郷中学校	10月13日(火)	偉人学習	2年生	27人
5	北城高校	10月14日(水)	偉人学習・施設見学	3年生	230人
6	大和小学校	11月12日(木)	庭園内散策	1年生	34人
7	明照幼稚園	11月17日(火)	美術館の雰囲気を知る	4・5歳児	24人
		3月17日(水)	公園散策		13人
8	大瀧中学校	11月6日(金)	公共施設の見学	1年生	10人

9	上越総合技術 高校 (延べ104人)	11月25日(水)	選択美術：鑑賞	2年生	32人
		12月4日(金)	選択素描：鑑賞	3年生	32人
		12月4日(金)	選択美術：鑑賞	2年生	15人
		12月11日(金)	選択素描：作品模写	3年生	25人
10	古城小学校	12月10日(木)	偉人学習	5・6年生	10人
11	吉川高等特別 支援学校	12月11日(金)	展覧会鑑賞		6人
12	新井小学校	1月22日(金)	展覧会鑑賞	6年生	68人
13	上越教育大学 附属中学校	1月27日(木)	作品鑑賞	1年生	108人
14	美守小学校	1月29日(土)	作品鑑賞	3年生	8人
15	飯小学校	2月26日(土)	偉人学習	6年生	63人
16	春日中学校	3月10日(水)	修学旅行の代替	2年生	35人
合計					884人

⑥博物館実習の受け入れ（上越市立歴史博物館との共同事業）

美術館開館準備に伴い実施せず

⑦職場体験学習の受け入れ（上越市立歴史博物館との共同事業）

美術館開館準備に伴い実施せず

3. 調査研究事業等

①原稿執筆

No.	書籍名等	発行	内容
1	博物館研究 Vol. 55 No. 12 通算 631号	公益財団法人日本博物館協会	「小林古径記念美術館 新たに開館」 伊藤舞実
2	新潟県博物館協議会 研究紀要 第8号	新潟県博物館協会	「大学と関連した教育普及活動の報告」 伊藤舞実

4. 収集保管事業

①作品・資料の収集

・寄贈作品

No.	作家名	作品名	材質	員数
1	小林 古径	果実	紙・墨	1幅
2	小林 古径	翠色	紙・着色	1幅
3	小林 古径	朝顔	絹・着色	1幅
4	小林 古径	尾長鳥	紙・着色	1幅
5	高井 進	青磁葡萄文大壺	磁器	1口
6	高井 進	青磁平水差	磁器	1口
7	高井 進	青磁平茶碗	磁器	1口
8	高井 進	耀変天目茶碗	磁器	1口

9	三浦 顯榮	妙高山	カンヴァス・油彩	1面
10	村山 陽	巢立つ	カンヴァス・油彩	1面
11	仲田 大二	瞽女（仮題）	カンヴァス・油彩	1面
12	仲田 大二	はなれ瞽女（習作）	紙・水彩	1面
13	相馬御風・竹内臨川	良寛と貞心尼	紙・墨・淡彩	1幅
14	牧野 虎雄	けし麦	カンヴァス・油彩	1面
15	牧野 虎雄	築山芥子	カンヴァス・油彩	1面
16	牧野 虎雄	立葵（仮題）	カンヴァス・油彩	1面
17	牧野 虎雄	風景（仮題）	カンヴァス・油彩	1面
18	牧野 虎雄	花（仮題）	カンヴァス・油彩	1面
19	牧野 虎雄	向日葵と芥子	絹・墨・着色	1幅
20	長森 聰	羽根飾りの仮面のある静物	カンヴァス・油彩	1面
21	長森 聰	山歸来とコロキャント	カンヴァス・油彩	1面
22	長森 聰	Cirque Gruss	カンヴァス・油彩	1面
23	長森 聰	霧と仮面のある静物	カンヴァス・油彩	1面
24	長森 聰	秋のあじさいと鹿の頭の酒瓶	カンヴァス・油彩	1面
25	鳥越 憂	杏の里	カンヴァス・油彩	1面
26	梶田 半古	比礼布留山	絹・着色	1幅
27	梶田 半古	おくに歌舞伎（本画下図双幅）	本画：絹・着色 下図：紙・墨	2幅
28	梶田 半古	婦子遊戯図（二曲一隻屏風）	絹・着色	1隻
29	梶田 半古	ひな	絹・着色	1面
30	梶田 半古	鉄拐仙人・蝦蟇仙人	絹・着色	2幅
31	梶田 半古	菊慈童	絹・着色	1幅
32	梶田 半古	鷹狩図	絹・着色	1幅
33	岩野 勇三	待合室	ブロンズ・鑄造	1点
34	木村 隆	引出窯茶碗	陶器	1口
35	木村 隆	碧釉切絵壺	陶器	1口

・所管替え作品（直江津図書館から）

No.	作家名	作品名	材質	員数
1	片岡 球子	水仙	絹・着色	1幅

以上 36件
（内訳） 日本画 13件
洋画 16件
工芸 6件
彫刻 1件

②作品・資料の貸与

展覧会名等	作家名	貸出作品	貸出期間
○上越市立歴史博物館			
「常設展 第一期」 会期：3月31日（火） ～6月28日（火）	斎藤 真一	《花野の道『越後瞽女日記』》 《赤倉瞽女『越後瞽女日記』》 《西頸城 能生の駅・待合室にて『越後瞽女日記』》	3月30日（月） ～6月29日（水）
「常設展 第二期」 会期：6月30日（木） ～9月27日（日）	斎藤 真一	《鷺口の雷『越後瞽女日記』》 《佐久の旦那『越後瞽女日記』》 《瞽女唄『越後瞽女日記』》	6月29日（水） ～9月28日（月）
「常設展 第三期」 会期：9月29日（火） ～12月20日（日）	斎藤 真一	《明星 二本木の雪『越後瞽女日記』》 《三人瞽女 冬の旅支度『越後瞽女日記』》 《待合所にて「瞽女」『越後瞽女日記』》 《赤いとんぼ玉簪『越後瞽女日記』》	9月28日（月） ～12月21日（月）
「常設展 第四期」 会期：12月22日（火） ～3月28日（日）	斎藤 真一	《雪の唄『越後瞽女日記』》 《西頸城の瞽女『越後瞽女日記』》 《お春の祈り『お春瞽女物語』》 《太郎の曲『お春瞽女物語』》	12月21日（月） ～3月29日（月）
○特定非営利法人 高田瞽女の文化を保存・発信する会（会場：瞽女ミュージアム高田）			
「春の企画展」 会期：4月4日（土） ～5月6日（水）	斎藤 真一	《街角》、《秋田おばこ》、《白壁の風景》、《曇り日（岡山風景）》、《ナポリの夏》、《下田》、《伊豆 落居》	4月3日（金） ～5月7日（木）
「夏の企画展」 会期：8月1日（土） ～8月23日（日）	斎藤 真一	《赤いとんぼ玉簪 母の形見》 《杉本瞽女 しま》 《みさお瞽女の祈り》	7月31日（金） ～8月24日（月）
「秋の企画展」 会期：10月3日（土） ～10月12日（月）	斎藤 真一	《おたか瞽女 坂城で遊女になる》 《かとうの死『越後瞽女日記』》 《おつねの死『越後瞽女日記』》 《門付け『越後瞽女日記』》 《風船の歌『越後瞽女日記』》	10月1日（木） ～10月12日（月）
「冬の企画展」 会期：1月8日（金） ～3月28日（日）	仲田 大二	《瞽女二人》	12月15日（火） ～3月29日（月）
○文化振興課（会場：ミュゼ雪小町）			
「高田瞽女展」 会期：8月8日（土） ～9月6日（日）	仲田 大二	《最後の瞽女》、《離れ瞽女》、《瞽女と花》、《瞽女座像》、《高田瞽女（習作）》、《瞽女宿の集い》、《瞽女旅立》	8月7日（金） ～9月9日（水）
	滝川 毘堂	《杉本キクイ首像》、《瞽女の雪道（習作）》	

令和3年度小林古径記念美術館事業実施状況

1. 展覧会事業

①展覧会開催事業

展覧会名	会期	内容	入館者数
企画展「古径と院展の作家たち」	4月1日(木) ～6月20日(日)	所蔵品を中心に、日本美術院で活躍した作家の作品を22作家・57点展示。院展作家の多様な作品を通して、日本美術院と古径の関わりを紹介。	3,257人 (うち小中高生388人)
企画展「生誕90年 岩野勇三彫刻展 人間へのまなざし」	7月3日(土) ～9月20日(月・祝)	生誕90年を迎える上越市出身の彫刻家・岩野勇三の初期から晩年までの作品を展示し、その作品世界を紹介する。高田城址公園内の彫刻作品も合わせて紹介する。	開催中
開館1周年記念「永青文庫所蔵近代日本画名品展」	10月2日(土) ～11月23日(火・祝)	開館1周年を記念し、永青文庫所蔵の近代日本画コレクションを展示する。古径の代表的作《髪》(重要文化財)や《孔雀》をはじめ、横山大観や下村観山、鏑木清方などの作家の作品を展示する。	—
第50回上越市美術展覧会記念作品展	12月4日(土) ～12月26日(日)	上越市美術展覧会(市展)は、令和3年に第50回を迎える。これを記念して、今年度の優秀作品を展示する。	—
コレクション展「白の世界」	令和4年 1月4日(火) ～3月21日(月・祝)	白の世界は、芸術家たちに大きなインスピレーションを与えた。本展では、コレクションから、雪や白にちなんだ作品を紹介する。	—

②館外展示

展覧会名	会期	内容	入館者数
勇三のふるさと・大島区さとがえり展	7月10日(土) ～7月18日(日)	「岩野勇三彫刻展」開催に合わせ、勇三の故郷大島区大平にて小品、デッサン、レリーフ17点を展示。17日(土)に作品鑑賞会と岩野勇三に関する映像の放映会を行う。	開催中

2. 教育普及事業

①展覧会関連イベント

イベント名	開催日	会場	内容	参加者数
○古径と院展の作家たち 関連イベント				
映像で偲ぶ古径忌	4月3日(土) 第1回：午前10時～11時 第2回：午後2時～3時	二ノ丸ホール	古径忌にちなみ、学芸員による解説の後に古径に関する映像(画の求道者)を放映(約30分)。	15人

学芸員とめぐる古 径邸・庭園ツアー	5月4日(火・祝) 第1回:午前10時~11時 第2回:午後2時~3時	古径邸 画室 庭園	古径邸・画室の建築の見どころを 学芸員が紹介しながら、古径邸庭 園で見ごろを迎えた山ツツジ等の 植物を鑑賞。	35人
みんなで「きつず ★アートチャレンジ」	5月5日(水・祝) 第1回:午前10時~11時30分 第2回:午後2時~3時30分	展示室 古径邸 庭園	学芸員と一緒に美術館内をめぐ り、子ども向け鑑賞ガイド「きつ ず★アートチャレンジ」に挑戦。 小林古径や日本画の画材について 学ぶ。	10人
学芸員によるギャ ラリートーク	4月29日(木・祝) 5月16日(日) 5月30日(日) 6月6日(日) 6月13日(日) (全5回) 午後1時30分~	展示室	学芸員による作品解説を行った。	35人
○岩野勇三彫刻展 人間のへのまなざし 関連イベント				
学芸員による 作品鑑賞会	7月3日(土) 8月14日(土) 午後1時30分~2時30分	展示室	学芸員による作品解説を行った。	7月3日 21人
岩野勇三 映像放映会	7月3日(土) 7月17日(土) 8月14日(土) 8月28日(日)	二ノ丸 ホール	岩野勇三のインタビュー映像を放 映することで、岩野の人となりや 制作に対する姿勢等の理解を深め る。	7月3日 6人
座談会「彫刻の魅 力を語ろう」	7月10日(土) 午後2時~3時	二ノ丸 ホール	内容:上越市ゆかりの彫刻家から 彫刻の魅力や制作について語って もらう。 講師:濱口剛氏(上越美術協会会 長)、横尾元則氏(県展参与)、本 間公司氏(県彫刻会会長)	20人
ブロンズコーナー 彫刻清掃&鑑賞会	7月17日(土) 8月28日(土) 午前9時~10時30分	高田城 址公園 ブロン ズコー ナー	公園内の岩野作品をキレイに清掃 し磨いた後、作品を鑑賞する。 協力:上越教育大学彫刻研究室	—
子ども講座「彫刻 ってナンだ?作品 作りにちょうせん!	8月22日(日) 午前9時30分~正午	二ノ丸 ホール	展示室内や公園内の作品を鑑賞し た後、自由に想像をふくらませて、 粘土で作品作りをする。講師:大塚 啓氏・大竹裕範氏(上越美術教育 連盟会員)	定員:小学 生2年生 以上20人
○永青文庫所蔵 近代日本画名品展関連イベント				
学芸員によるギャ ラリートーク	前期:10月3日、24日 後期:11月7日、11月21 日 (全4回) 各回日曜日午後1時30分~	展示室	学芸員による展覧会の概要紹介、 作品解説	—

秋の美術館コンサート「ハープで奏でるジャズと映画音楽」(仮)	10月17日(日) 午後2時～	二ノ丸ホール	スタンダードジャズや映画音楽など、癒しの雰囲気から情熱的でリズムカルな音楽まで変幻自在な演奏によって美術館での昼のひと時を楽しむ。 演奏者：Harp Jazz (名知玲美 Vocal、森下恭江 Harp、高島真悟 Aco/Piano)	定員:50人
作品を見て秋の和菓子をつくろう	10月30日(土) 午前10時～ 午後2時～	二ノ丸ホール	作品鑑賞後、和菓子作りを行う。 講師：宮越雅士氏(大杉屋惣兵衛仲町工場長)	定員:小学生と保護者20人
記念講演会	11月13日(土) 午後2時～	二ノ丸ホール	舟串彩氏(公益財団法人永青文庫学芸員)による記念講演会。	定員:40人
日本画鑑賞と魯山人の器で楽しむ特別懐石料理	11月1日、8日、15日(全3回) 昼の部 午前11時～午後1時30分 夜の部 各回月曜日午後5時～8時	古径邸画室	紅葉が美しい美術館庭園の中で、近代日本画の名品鑑賞と懐石料理がセットで楽しめる。 学芸員の鑑賞ガイドとともに休館日にゆったりと鑑賞できる。 ※料理のほか、展覧会入館料、学芸員による作品ガイド、図録1冊付き。	定員:各回10人
庭園紅葉ライトアップ	11月9日(火)～11月23日(火)	古径邸庭園内	紅葉の時期にあわせて、小林古径邸庭園内をライトアップ。期間中は午後7時まで延長開館。	—
○白の世界				
美術館キャンドルナイト	2月11日(祝)	美術館	古径の生誕日を記念し、入館料を無料とするほか、庭園内に雪灯籠を灯し、美術館を彩る。 画室では、雪にちなんだ和菓子と抹茶の販売を行う。	—

②その他の美術館主催イベント・サービス

イベント名	開催日	会場	内容	参加者数
どようワークショップ	会期中の土曜日 午前10時～正午 (全39回)	二ノ丸ホール	子どもから大人まで気軽に楽しめるワークショップを土曜日午前に開催。展示作品や季節に合わせ内容を変え、美術館に親しみを感じてもらう契機とした。	39人 (9回/39回)

よちよちタイム	開館中の火曜日 午前9時～正午 (12月-3月 10時～正午) (全39回)	二ノ丸 ホール	未就学児の保護が気兼ねなく美術館で作品鑑賞をしてもらうことを目的に実施。火曜日の午前中を「よちよちタイム」とし、保護者1名無料とした。ホール内に自由に遊ぶおもちゃや絵本を用意した。	19人 (8回/39回)
こどものための美術館ガイド「きつず★アートチャレンジ」	—	美術館内	小林古径のこと、美術館に展示している作品のこと、日本画の絵の具に関する問題を解き、美術館に親しみを持ってもらうための子ども向けの取り組み。	46人 (4～6月の合計)
スマートフォン向けアプリ「ポケット学芸員」	—	—	展示作品画像や解説を、どこでも自分のスマホから楽しむことができるアプリ。 展示室にある解説文や作品画像を拡大して表示することができ、展覧会によっては翻訳した作品解説を英文で楽しむことができる。	—

③上越教育大学との連携事業

「ヨリ・ミチ図工室」

平日の放課後に子どもが主体的に造形活動をする場所、材料、道具、きっかけを提供することを目的として、平成29年に始動。今年で5年目の実施となった。

人数：A組：20名、B組：20名

(附属小学校・大町小学校・大手町小学校・稲田小学校・春日新田小学校・国府小学校)

場所：二ノ丸ホール

No.	テーマ	日時	活動内容	参加人数
1	美術館探検と名札づくり	6月2日(水) 6月16日(水)	・展覧会「古径と院展の作家たち」鑑賞 ・ろうそくやクレヨンで好きな形や線を自由に描き、色水を塗り、すてきな紙をつくる(はじき絵) ・丸く切り抜き、自分の名前をスタンプして、缶バッジにする	A組:18人 B組:20人
2	うみかぜモビール	7月7日(水) 7月21日(水)	・海の生き物たちをモチーフに、キラキラしたスパンコールなどで飾ってモビールを作る	A組:20人 B組:—
3	フキダシ美術館	9月1日(水) 9月15日(水)	・展覧会「岩野勇三彫刻展」鑑賞 ・展示作品画像を用いた物語づくり	—
4	美術館長廊を使った活動	10月6日(水) 10月20日(水)	(内容検討中)	—
5	「ミニ掛け軸づくり」 (仮)	11月10日(水) 11月17日(水)	(内容検討中)	—
6	織り機(仮)	12月8日(水) 12月15日(水)	(内容検討中)	—

④出張授業・画材貸出

出張授業 (※7月16日現在依頼のあったものを記載)

No.	団体・学校名	期 日	内 容	参加者数
1	新道地区公民館 「新道キッズ体験 教室」	7月29日(木) 予定	・日本画キットを紹介しながら、日本画の歴史や材料、道具について学ぶ ・色紙に「夏」をテーマに絵を描き、日本画の絵の具で彩色する	10人
2	長岡市立表町小学校 6年生	9~10月 予定	・展覧会で作品鑑賞をした後に、和紙はがきに日本画絵具で小林古径作品の塗り絵をする	25人
3	北諏訪地区公民館	11月15日(金) 予定	・展覧会で作品鑑賞をした後に、和紙はがきに日本画絵具で小林古径作品の塗り絵をする	12人

◆教材キット内容

小林古径が使用したものに近い筆、絵具を揃えた。使用キットは人数に応じて用意する。

キット種類	内 容
見本キット(木箱入り)	岩絵具原石7種、筆原材料5種、紙原材料4種、岩絵具6種、墨、硯、金泥、金箔、銀箔、膠、筆、和紙、絹、ルーペ
使用キット	岩絵具セット2箱、水干絵具セット2箱、胡粉、顔彩セット2箱、墨、硯、筆、金箔、銀箔、箔切、箔はさみ、箔切台、砂子筒4本、砂子巻棒、絵皿、乳鉢・棒、筆洗い、膠鍋、匙、電熱器、膠、新鳥の子紙
日本画制作過程見本	写生から小下図、下図写しを経て骨描き、彩色、仕上げに至るまでの過程(8工程)を見本(F6サイズボード)で示す。
原寸大デジタル複製画	小林古径の複製画を貸与する。貸与点数は一度に約5点までとする。

貸し出し状況

No.	団体・学校名	期 日	内 容
1	洞谷亜里佐氏 (上越教育大学教授)	4月20日(火)~ 4月22日(木)	大学の講義で使用するため、日本画キット貸出
2	洞谷亜里佐氏 (上越教育大学教授)	5月28日(金)~ 5月29日(土)	大学で行う公開講座に使用するため、日本画キット貸出

⑤団体見学

No.	団体・学校名	期 日	内 容	人数
1	日本旅行	4月2日(金)	観桜会期間中の延長開館にあわせて、夜桜と美術館を楽しむツアー。学芸員による解説	18人
2	神姫バス	4月8日(木)	観桜会期間中の延長開館にあわせて、夜桜と美術館を楽しむツアー。学芸員による解説	12人
3	神姫バス	4月9日(金)	観桜会期間中の延長開館にあわせて、夜桜と美術館を楽しむツアー。学芸員による解説	11人
4	日本旅行	4月11日(日)	観桜会期間中の延長開館にあわせて、夜桜と美術館を楽しむツアー。学芸員による解説	15人
5	フリーウェイツアー	4月12日(月)	観桜期間中の桜と美術館を楽しむツアー。学芸員による解説	7人

6	富岡小学校	5月6日(木)	全校遠足のチェックポイントとして利用	96人
7	大潟町中学校1年生	5月13日(木)	学芸員による解説	34人
8	大潟町中学校1年生	5月14日(金)	学芸員による解説	34人
9	官公庁連絡協議会	5月18日(火)	学芸員による解説	16人
10	八千浦地区公民館	6月10日(木)	学芸員による解説	12人
11	上越高校3年生	7月15日(木)	学芸員による解説	51人
12	上越高校3年生	7月16日(金)	学芸員による解説	28人

⑥ 博物館実習の受け入れ（上越市立歴史博物館との共同事業）

8月3日(火)～8月7日(土) 5日間 参加予定者：1人

⑦ 職場体験学習の受け入れ（上越市立歴史博物館との共同事業）

受付中

3. 調査研究事業等

①講演会講師・原稿執筆

No.	団体・書籍名等	期 日	内 容	人数
1	上越タイムス 紙上連載	4月29日(木) 5月2日(日) 5月5日(水) 5月7日(金) 5月9日(日)	小林古径記念美術館展示作品紹介 「古径と院展の作家たち」(全5回) 小川陽子	—
2	五智歴史の里協議会 (五智歴史の里会館)	6月19日(土)	第97回文化講演会 「戦時中の小林古径」 笹川修一	30人

②図録原稿執筆

No.	書籍名等	発 行	内 容
1	生誕90年岩野勇三彫刻展 —人間へのまなざし—	小林古径記念美術館	「岩野勇三における民俗的主題の作品について」 市川高子

4. 収集保管事業

①作品・資料の収集

上越市美術資料収集委員会開催後に収集予定

②作品・資料の貸与

展覧会名等	作家名	貸出作品	貸出期間
○上越市立歴史博物館			
「常設展 第一期」 会期：3月19日(金) ～6月28日(月)	斎藤真一	《明星 妙高谷『越後瞽女日記』》、《杉本瞽女しま》、 《瞽女 キクエと桜》、《待合所にて「瞽女」『越後瞽女日記』》	3月19日(金) ～6月28日(月)

「常設展 第二期」 会期:6月29日(火) ～9月15日(水) 予定	斎藤真一	《鷺口の雷『越後瞽女日記』》 《佐久の旦那『越後瞽女日記』》 《瞽女唄『越後瞽女日記』》	6月28日(月) ～9月15日(水) 予定
「常設展 第三期」 会期:9月15日(水) ～12月22日(水) 予定	斎藤真一	《瞽女 杉本キクエ》、《杉本キクエ旅姿『越後瞽女日記』》、《赤倉瞽女『越後瞽女日記』》 《かとうの死『越後瞽女日記』》	9月14日(火) ～12月22日(水) 予定
「常設展 第四期」 会期:12月22日(水) ～3月28日(月) 予定	斎藤真一	《西頸城の瞽女『越後瞽女日記』》 《三人瞽女『越後瞽女日記』》 《西頸城 能生の駅・待合い室にて『越後瞽女日記』》	12月21日(火) ～3月29日(火) 予定
○特定非営利法人 高田瞽女の文化を保存・発信する会 (会場: 瞽女ミュージアム高田)			
「春の企画展」 会期:4月1日(木) ～5月5日(水)	斎藤真一	《あげ石瞽女・神保瞽女一覧『越後瞽女日記』》 《かとうの死》	3月31日(水) ～5月6日(木)